

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
1) 近江の地場産品の需要拡大のための、新商品の開発に対する支援、情報の提供、新たな販路の開拓の促進等(44事業)															
ア 近江の地場産品のPRイベントや地産地消を推進するキャンペーンの実施、近江の地場産業事業者等のPR活動に対する支援(14事業)															
1		デ 「発酵産業」成長促進化プロジェクト事業	地域の資源や素材を活かした発酵産業の創出を図るため、県内事業者による発酵を軸とした新たな商品・サービスの開発や販路拡大、認知度向上に向けた取組を支援する。	○ターゲットを意識した商品・サービス開発、販路開拓および学びの推進				○商品化1件を含む補助5件、酒等発酵食品を含む県産食品の展示会に参加1件を通して、滋賀県の発酵文化の盛り上げと周知ができた ○「発酵と言えば滋賀」という状態には届かないので、引き続き事業者支援と周知活動を続ける				2,924	商工政策課	-	
				プロジェクト 件数	6件 (6件)	100% 6件 (6件)	(6件)	()	()	【-】					
2		伝統的工芸品月間等参加事業	伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する全国伝統的工芸品展に参加する。	○伝統的工芸品月間事業 出展者：近江上布 開催期間：11月2日(木)～5日(日) 開催場所：岡山市岡山芸術創造劇場 ハレノワ(岡山県) ○全国伝統的工芸品展 開催期間：①7月12日(水)～17日(月) ②2月23日(金)～28日(水) 開催場所：①阪急うめだ本店(大阪市北区) ②銀座松屋(東京都中央区) 出展者：①近江上布、彦根仏壇 ②信楽焼、上丹生木彫、輪奈ビロード				未だ認知されていない現状があるため、引き続き、認知度向上のための魅力発信が必要であり、継続して、事業を実施。				2,666	イノベーション推進課	16	
				WAZA展への出展を通して「販路開拓につながった」と感じた事業者の割合	83.3% (80%)	125% 100% (80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
3		デ 「滋賀県モノづくり・匠の技展」開催事業	伝統的工芸品等の、手仕事の技術の高さ・実用性・美といった価値を広く県民に伝えるため、体験・実演・展示・販売の総合的な取組を実施する。	○県および国指定の伝統的工芸品の展示・販売・実演を含む体験会を開催。 開催期間：11月10日（金）～12日（日） 場所：希望が丘文化公園 事業者：愛知川びん細工手まり、近江上布、上丹生木彫、ろくろ工芸品、浜ちりめん（輪奈ビロード。網織紬）、彦根仏壇、信楽焼、木珠、草木染手組組紐 内容：①展示・販売：6社 ②体験コーナー：5社 ③技の実演コーナー：4社				より効果的な実施の検討のため、「地場産業・伝統的工芸品魅力発信ベース検討事業」を後継事業として実施。 「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合：50%（8社中4社）※無回答者あり				2,457	イノベーション推進課	－
				「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合	80% (80%)	63% 50% (80%)	()	()	()	【-】				
4		デ 近江の地域産業振興総合支援事業	地場産業組合等が実施する海外の販路開拓、持続的発展に向けた後継者育成や国内での販路拡大等、ブランド力向上を目指した取り組みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した（開催日：7月26日）。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的に行うブランド化推進に係るセミナー開催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等に対して助成した ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して助成した				・円安の影響により、海外展開戦略に係る事業者負担は増しているが、海外展示会で取引まで繋っており、引き続き販路開拓等に係る支援を実施する				12,728	イノベーション推進課	26 71 93
				商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数	13者 (15者)	60% 6者 (10者)	()	()	()	【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	達成度% 令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
5		近江の地酒文化普及事業	近江の地酒に関する魅力を発信し、県民等の近江の地酒に対する愛着を高め、地酒でもてなす機運を醸成することで新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行い、滋賀への誘客促進や関係人口の創出を図る。	○「近江の地酒」に関する魅力の発信 ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・地酒イベントキャンペーンの開催 ・ホームページ等WEBを活用した情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 ・近江の地酒ファン獲得に繋がる資材の作成 ・滋賀県酒造組合が開催する地酒の魅力発信イベントや海外への輸出促進の取組を支援				各酒蔵の新規商談件数の増加のためにはBtoBの取組が必要である。令和6年度においては企業向けの試飲会や商談会などの実施について、酒造組合や関連事業者等と連携して検討を進める。				4,037	観光振興局	83
				・商談件数	99件 (50件)	676% 676件 (100件)	()	()	()	接触者数 200者 【令和6年度】				
6		環境こだわり農産物等流通・販売強化事業	学校給食提供時等、食育を通じて環境こだわり農業への理解を醸成し、環境こだわり農産物等の高付加価値化・認知度向上につながる取組を支援する。	○環境こだわり農産物等の認知度向上につながる取組を支援 ・環境こだわり農産物コーナーの設置 ・環境こだわり農産物を使用した惣菜等への簡易表示の推進 ・京阪神の量販店での販売促進・PR活動 ○環境こだわり農業に対する消費者の理解促進につながる啓発活動に対する支援				○専用コーナー設置に係る経費の支援等により、県内における専用コーナー新規設置店舗数は現時点で2店舗となった ○また、令和5年度に作成した「環境こだわり農業」に関連する消費者向け動画を補助事業と合わせて紹介し、動画も活用した事業イメージを提案するなどし、専用コーナー設置数のさらなる拡大を図る				8,145	みらいの農業振興課	17
				・環境こだわり農産物等の専用コーナーを新たに設置する店舗数(県内)	- (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (20)	20 【R8年度】				
7		食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業	県産野菜等の新しい食べ方提案や食べられる店舗の見える化を図り、消費者の日常生活の多様な場面(内食、中食、外食)で県産野菜等の魅力を感じられる機会を創出し、その消費拡大を図る。	○内食・中食での消費拡大 ・新しい食べ方提案による家庭での県産野菜の消費拡大 ・首都圏での県産食材ファンの獲得 ○外食での消費拡大 ・県産野菜の食べられる機会の見える化 ・民間企業や大学等との連携				○「内食」「中食」「外食」と様々なシーンで消費者の野菜の摂取量増に対する意識・行動変容を促すため、引き続きメニューフェアや野菜摂取量測定会等を通じて県産野菜の消費拡大を推進する				5,227	みらいの農業振興課	19
				県産野菜を継続して提供・PRする飲食事業者数	57事業者 (60事業者)	105% 68事業者 (65事業者)	()	()	()	65事業者 【R05年度】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
8		⑩ 地域ニーズに応える 直売所等応援事業	直売所が実施するデータ分析に基づく生産・販売戦略の策定や戦略に基づく取組、生産者等が実施するネット販売の取組を支援する。	達成度% ○データ分析に基づく直売所生産・販売戦略策定等支援 ・生産・販売戦略の策定支援、戦略に基づく出荷者育成活動の支援等 ○ICT活用力の強化 ・ICTを活用したネット販売等の取組支援				○POSデータや商圏データなど様々なデータを分析・活用することにより、消費者ニーズに基づく生産・供給体制の強化やICTを活用した新たな流通・販売方法の習得を支援する				5,178	みらいの農業振興課	-
				ICTの強化に取り組む事業者数	14事業者 (15事業者)	9事業者 (15事業者)	()	()	()	15事業者 【R05年度】				
9		⑪ 新時代の近江牛応援 団づくり事業	県内の児童等が近江牛の魅力、地元の食・食文化、地産地消や食の安全に対する理解を深めることによって、将来の近江牛ファンを育てるとともに、職業としての農業、食肉の卸売・小売業、飲食店営業等の魅力を伝えることによる将来の担い手や人材確保のきっかけ作りに資する。	○関係団体が行う、県内の学校等で関係者が出前講座と食育を行う取組に対する支援				引き続き、近江牛の魅力発信と食育活動により、将来の近江牛ファンを育てることが重要である また、職業としての農業、食肉の卸売・小売業、飲食店営業等の魅力を伝えることによる将来の担い手や人材確保取組が必要である				763	畜産課	89
				近江牛の出前講座の開催	- (-)	53回 (20回)	- (30回)	- (-)	- (-)	- 【-】				
10		水産物流通促進対策 事業	滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。	○滋賀県水産物加工品評会の開催 ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信				○滋賀県水産物加工品評会の開催 ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信				500	水産課	39 43
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
11		しがの水産物流通拡大 対策事業	「びわサーモン」の特徴を広く周知するとともに、イメージの向上と定着を図るため、PR活動や新たなメニュー開発などに対して支援。	○地元料理店、料理人等との連携による新たなびわサーモンメニューの開発および提供 ○消費者に向けたびわサーモンの情報発信				○地元料理店、料理人等との連携による新たなびわサーモンメニューの開発および提供 ○消費者に向けたびわサーモンの情報発信				200	水産課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
12		多様で革新的な流通 モデル実践事業	今後の高齢化による琵琶湖 漁業の構造変化を見据え、 漁業組織が経営スキルの強 化を目的に、流通事業者と 連携して湖魚の新たな流通 モデルの検討・実践を行う 取組を支援する。	湖魚の新たな販路・流通の確立に向けて、市場調 査や流通手法についての検討を行い、首都圏等 の大都市圏等へ向けた流通モデルの実践と評価を 行った								8,000	水産課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					
13		⑨ 魚のゆりかご水田魅 力発信強化事業	「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定を契機に、 魚のゆりかご水田の生産者 自らが主役となって情報発 信できる人材の育成、各地 域取組の一元化した情報発 信（HP構築）、「魚のゆり かご水田米」のブランド力 向上を通して需要喚起を図 り、魚のゆりかご水田プロ ジェクトの持続的発展を目 指す。	○魚のゆりかご水田米PR業務委託（魚のゆりかご 水田米現地視察ツアー） ・首都圏や京阪神地域の米卸や小売業者を魚のゆ りかご水田米生産現地に招聘。説明会、ミニ商談 会の実施。 ○京阪神での魚のゆりかご水田PR業務委託（京阪 神地域でのPR活動の実施） ・ショッピングモールや百貨店でのPR活動 ○魚のゆりかご水田情報発信力強化業務委託 ・情報発信スキルアップ研修 ・交流会やシンポジウムの実施 ・HPの構築、情報発信								4,203	農村振興課	-	
				魚のゆりか ご水田米認 証面積	107ha (150ha)	91% 118ha (130ha)	18組織 (18組織)	(20組織)	()	20組織 【R7】	R6より取組 組織数に目 標変更				
14		滋賀のくすり振興対 策事業	「滋賀のくすり」のイメ ージアップを図り、販路を拡 大するための啓発活動に対 して支援する。	○（一社）滋賀県薬業協会が行う滋賀のくすり販 売促進活動事業の支援（補助金）								500	薬務課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
		イ 首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」を活用したPRイベントの開催等、首都圏における近江の地場産業事業者等の販路開拓等取組支援(9事業)												
15		ここ滋賀推進事業	情報発信拠点「ここ滋賀」を運営し、滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べることができる体験型の発信を行うとともに、滋賀への誘引と関係人口の創出につなげる。あわせて、「ここ滋賀」外への販路拡大に向けた支援や、首都圏での滋賀ファンの拡大などに取り組む。	○情報発信拠点運営事業 ・「ここ滋賀」の運営管理 ○滋賀の魅力体感創造事業 ・情報発信や観光誘客の強化に向けた取組・企画 催事やメディア発信の実施・県産品の販売促進や 販路開拓、首都圏での展示会や即売会の開催支援 など、県内事業者との連携				更なる魅力発信の強化ならびに来館者および県内事業者の満足度向上を図るとともに、拠点機能の最大化をめざして、拠点の各機能および事業ごとに具体的な取組を着実に進めていく				185,544	観光振興局 (ここ滋賀)	-
				「ここ滋賀」 の来館者数	347,918人 (45万人)	424,656人 (45万人)	()	()	()	【】				
16		伝統的工芸品月間等 参加事業 (再掲)	伝統的工芸品産業の振興を図るため、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する全国伝統的工芸品展に参加する。	○(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施する 全国伝統的工芸品展に参加				未だ認知されていない現状があるため、引き続き、 認知度向上のための魅力発信が必要であり、継続し て、事業を実施。				(再掲)	イノベーション推進課	2
				WAZA展への 出展を通し て「販路開 拓につな がった」と 感じた事業 者の割合	83.3% (80%)	100% (80%)	(80%)	(80%)	(80%)	【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
17		⑨ ⑩ 環境こだわり農産物等流通・販売強化事業	学校給食提供時等、食育を通じて環境こだわり農業への理解を醸成し、環境こだわり農産物等の高付加価値化・認知度向上につながる取組を支援する。	○環境こだわり農産物等の認知度向上につながる取組を支援 ・環境こだわり農産物コーナーの設置 ・環境こだわり農産物を使用した惣菜等への簡易表示の推進 ・京阪神の量販店での販売促進・PR活動 ○環境こだわり農業に対する消費者の理解促進につながる啓発活動に対する支援				○専用コーナー設置に係る経費の支援等により、県内における専用コーナー新規設置店舗数は現時点で2店舗となった ○また、令和5年度に作成した「環境こだわり農業」に関連する消費者向け動画を補助事業と合わせて紹介し、動画も活用した事業イメージを提案するなどし、専用コーナー設置数のさらなる拡大を図る				(再掲)	みらいの農業振興課	6
				・環境こだわり農産物等の専用コーナーを新たに設置する店舗数(県内)	- (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (20)	20 【R8年度】				
18		⑨ ⑩ 世界農業遺産まると県外PR事業	首都圏や京阪神エリアを対象に、世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」の営みの中で生産される「滋賀の幸」の魅力の発信や「滋賀の幸」の販路拡大の機会を創出し、「滋賀の幸」のファン拡大と生産者の生産意欲を向上を図る。	○首都圏プロモーション ・メニューフェアの実施 7/1～3/22を実施期間として首都圏の34店舗にて実施。食材はビワマス、近江牛、近江鴨、野菜、近江の茶など ○京阪神プロモーション ・メニューフェアの実施 1月に京阪神の8店舗について実施。食材は近江牛、近江鴨、ワカサギ、野菜、近江の茶など ○販路開拓活動支援(補助金) 県内10業者が大都市圏で県内農畜水産物のPRを実施				飲食店と生産者の継続的な関係構築については、産地訪問等により一定効果が認められている。今後、より一層滋賀食材の認知度向上、消費拡大を図るために、どのような事業展開をしていくか検討する必要がある。				12,365	みらいの農業振興課	-
				首都圏における「おいしがうれしが」キャンペーン推進店登録件数	- (-)	125店舗 (125店舗)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【140店舗】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
19		デ 食べて健康「滋賀の野菜」消費拡大事業	県産野菜等の新しい食べ方提案や食べられる店舗の見える化を図り、消費者の日常生活の多様な場面（内食、中食、外食）で県産野菜等の魅力を感じられる機会を創出し、その消費拡大を図る。	○内食・中食での消費拡大 ・新しい食べ方提案による家庭での県産野菜の消費拡大 ・首都圏での県産食材ファンの獲得 ○外食での消費拡大 ・県産野菜の食べられる機会の見える化 ・民間企業や大学等との連携				○「内食」「中食」「外食」と様々なシーンで消費者の野菜の摂取量増に対する意識・行動変容を促すため、引き続きメニューフェアや野菜摂取量測定会等を通じて県産野菜の消費拡大を推進する。				(再掲)	みらいの農業振興課	7
				県産野菜を積極的に活用する飲食店数	57事業者 (60事業者)	105% 68事業者 (65事業者)	()	()	()	65事業者 【R05年度】				
20		デ オーガニック近江米等産地育成事業	オーガニック米の生産拡大を図るため、乗用型水田除草機導入等の支援、収量・品質の安定化に向けた栽培技術の普及と、オーガニック農業の産地づくりとして、各市町等のオーガニックビレッジの創出等を支援する。	○生産拡大事業 ・有機農業を進める人材の育成 ・乗用型水田除草機への導入を支援 ・有機JAS認証取得を支援 ○オーガニック農業の産地づくり推進 ・新たに有機農業を開始する農業者への支援				①栽培技術の指導者が不足、②有機JAS認証の導入負担、③水田輪作体系における麦、大豆（野菜）栽培の知見不足、等の課題解決が必要。あわせて、地域ぐるみでオーガニック農業やオーガニック給食等を推進するモデル地区創出による面的な拡大が必要なことから、引き続き事業を活用する等し推進を図る				3,593	みらいの農業振興課	-
				オーガニック農業(水稲:有機JAS認証相当)取組面積(ha)	288.7 (300ha)	96% 301.1 (速報値) (315ha)	- (330ha)	- ()	- (400ha)	400ha 【R8年度】				
21		新 デ 健康志向に対応したオーガニック茶産地育成事業	健康ニーズの高まりを新たな需要と捉え、「近江の茶」の健康ブランド化を図るため、オーガニック茶に加え、ノンカフェイン、低カフェイン等の健康志向向けの輸出茶の商品を拡充する。	○健康志向に対応したカフェインレス茶製造技術の開発（茶業指導所） ○健康志向に対応したオーガニック茶産地体制の構築（補助金）				○品種、茶期によるカフェイン含量の違いや製茶技術によるカフェイン低減技術を明らかにした ○試作品による消費者の嗜好やアンケートを実施し、カフェインに対する消費者ニーズの把握した ○今後は品種や製茶方法の組み合わせを検討するとともに消費者評価も踏まえ商品化を図る				2,979	みらいの農業振興課	38 59
				健康機能性を持ったオーガニック茶商品の開発	- (-)	- (-)	- (1商品)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
22		しがの力強い水田農業確立推進事業	農業所得の最大化に向け、近江米振興協会や各産地が実施する需要の変化に対応する米づくりや自給率の向上が求められる麦・大豆の本作化等の取組を支援するとともに、新たな需要を切り拓くための新品種の育成等を加速する。	○近江米のブランド力向上を目的とした「特Aプロジェクト」等の取組を支援し（補助金）、「みずかがみ」で「特A」評価を獲得した。 ○各産地が実施する需要の変化に対応する米づくりや麦・大豆等の生産、流通・販売の取組を支援した（補助金）。(7JA+全農) ○水稻（酒米等）の新品種の育成を加速化（農業技術振興センター）		達成度% 98%						180,349	みらいの農業振興課	-
				全国の主食用米需要量に占める近江米のシェア	2.14 (2.16%)	2.13 (2.17%)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
23		デ 未来につなぐ近江米新品種プロジェクト	オーガニック栽培等を見据えた水稻新品種の育成・現地実証およびマーケットインを意識した新たな流通対策の検討を行う。	○「きらみずき」の栽培支援と生産拡大、種子の確保を図った。 ○「きらみずき」のブランド化を進めるためのロゴマーク等の作成および消費者へのPRを実施した。								16,594	みらいの農業振興課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
	ウ 近江の地場産業事業者等の海外展開戦略に係る取組支援(4事業)													
24		海外展開総合支援事業	「①友好協定やMOUに基づき築き上げてきた諸外国とのネットワークを活かした経済交流の促進」、「②ジェットロ滋賀等の関係機関と連携した県内企業への総合的な海外展開支援」を組み合わせ、新型コロナウイルス等によるビジネス環境の変化に対応した新しい海外展開事業に取り組む県内企業等を総合的に支援し、海外展開を通じた経営の強靱化や反転攻勢への取組を後押しする。	○海外視察団受入事業 海外からの視察団を受入れることにより、県内企業への情報提供、情報発信を推進した。 ○ベトナム等経済交流推進事業 ホーチミン市等で開催される展示会等への参加を通じて、県内企業との経済交流を図った。 ○海外展開連携事業 ジェットロ滋賀貿易情報センターに係る負担金を支出した。		527%						16,742	商工政策課	-
				海外展開成功件数	28件 (15件)	79件(見込み含む) (15件)	- (15件)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
25		海外展開チャレンジ 支援事業	ジェトロ滋賀貿易情報セン ター等と連携の上海外展開 事業にチャレンジする県内 企業等を支援し、海外展開 を通じた経営の強靱化への 取組を後押しする。	○①新たな海外販路開拓事業、②新たな海外拠点 進出・多角化事業を行う際に、その経費の一部を 補助した。 達成度% 73%				○補助金の支援のみではなく、ジェトロ等の支援機 関と連携して事業者をサポートする必要がある。 ○令和6年度からは、県内中小企業が海外展開を見 据えた新商品開発・ブランディングに取り組み、海 外への販路開拓を目指す事業に要する経費を補助す る。				12,061	商工政策課	-
				支援件数	12件 (10件)	11件 (15件)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
26	デ	近江の地域産業振興 総合支援事業	地場産業組合等が実施する 海外の販路開拓、持続的発 展に向けた後継者育成や国 内での販路拡大等、ブラン ド力向上を目指した取り組 みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した(開催日:7月26 日)。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を 目的に行うブランド化推進に係るセミナー開 催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等 に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組 合に対して助成した。 60%				・円安の影響により、海外展開戦略に係る事業者負 担は増しているが、海外展示会で取引まで繋げてお り、引き続き販路開拓等に係る支援を実施する。				(再掲)	イノベーション推進課	4 71 93
				商品開発や販 路開拓に取り 組んだ事業者 の数	13者 (15者)	6者 (10者)	()	()	()	【-】				
27	新デ	世界に届け「滋賀の 幸」海外PR事業	県産農畜水産物「滋賀の 幸」の魅力を、世界農業遺 産認定とともに海外に発信 することで、輸出拡大を図 る。	○アジアや米国等におけるプロモーション等での 滋賀県食材のPR活動 ・台湾の高級デパートにおける滋賀県フェアの開 催(9/19~10/2) ・渡米生産者の支援(10/4~10/10) ・チェコ、フィンランドおよびデンマークのイン ボーターの滋賀県への招聘				新たに輸出に取り組む事業者の掘り起こしが課題で ある。				18,272	みらいの農業振興 課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】	備考			
		エ 近江の地場産業事業者等に対する技術提供や共同研究、商品開発等の取組支援(12事業)												
28		びわ湖材産地証明事業	びわ湖材産地証明制度の運営および品質認定の取得を支援するとともに、新たな木材利用を普及啓発する。	○県産木材活用推進協議会に対し、びわ湖材産地証明制度の運営を支援した。 達成度% 90% びわ湖材証明を行った年間木材量 65,700m3 (68,600) 66,800m3 (74,400) ()				○C L T等の普及促進を図るとともに、びわ湖材の利用拡大をするための研修会を開催。 ○びわ湖材産地証明制度の運営および日本農林規格(J A S)認定の取得を支援。 115,000m³ 【令和12年度】				2,966	びわ湖材流通推進課	40
29		プロジェクトチャレンジ支援事業	中小企業が新プロジェクトを立案しチャレンジできる環境を整備することで、新製品や新技術開発を活性化し、開発されたものを事業化へつなげることによって、県内経済の向上につなげる。	○プロジェクトチャレンジ支援事業費補助金 ・新商品や新技術開発にかかる必要な調査、研究開発経費の一部を助成 ・C O 2削減に資する研究開発およびデジタル産業、医療・健康産業や循環産業において今後成長が見込まれる分野に関する研究開発を支援 ○フォローアップ支援事業 ・チャレンジ計画等の企画、実施、成果の事業化について各段階に応じた支援 中小企業の新製品等開発計画の認定等件数 8件 (9件) 8件 (9件) (9件)				・C O 2ネットゼロに資する研究開発を推進するため、C O 2削減に繋がるより効果的な研究開発を支援する。 - 【-】				39,471	イノベーション推進課	52
30		新 デ 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業	地場産業事業者と専門家(近江のデザイナー)のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する。	○「近江のデザイナー」マッチング委託事業 ・地場産業事業者7者と近江のデザイナー3名のマッチングを実施 ・地場産業事業者と近江のデザイナーが取り組む商品開発・販路開拓を伴走支援 全体ミーティング4回、個別ミーティング5回実施 ・地場産業事業者と近江のデザイナーの人材育成 デザインやブランディング等に関するセミナーを7回実施 ○「近江のデザイナー」地場産業販路開拓支援事業 ・上記委託事業で取り組む商品開発・販路開拓に係る経費について地場産業事業者に助成した。 商品開発や販路開拓に取り組んだ件数 - (-) 7件 (6件) (-)				・令和5年度は各事業者はブランディングや製品企画を行ったところであり、商品開発・販路開拓に向けて次年度は試作やパッケージの作成等を行っていく。 - (-) - (-) - 【-】				6,464	イノベーション推進課	63 72

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
31		窯業技術研究開発事業	県内の陶磁器および窯業関連企業の技術支援および産業振興を目的に、新製品および新素材の研究開発を行う。	○陶磁器デザイン指導事業 試験場のデザイン及び試作技術等を生かした技術指導 ○「新しい生活様式のための陶製品開発」の実施と成果普及				引き続き、試験場のデザイン及び試作技術等を生かした技術指導を行い、「未来世代への陶製品開発研究」に新たに取り組む。				1,939	工業技術総合センター	53
				技術移転（特許出願、実施許諾を含む）、試作品開発、新素材開発件数	27件 (25件)	107% 16件 (15件)	()	()	()	【】				
32		地域産業育成指導事業	窯業関連事業者への技術情報の提供および窯業関連製品や素材の試験および研究を行う。	○技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、製品・素材の研究開発				引き続き、技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実施。				5,205	工業技術総合センター	54
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
33		先導的技術開発プロジェクト事業 (陶製品製造工程へのデジタル技術導入支援事業)	3Dスキャナ、CNC加工機やセラミックス印刷機等のデジタルファブリケーションを活用した陶製品の製造工程を確立し、産地の製造現場に対する技術導入支援を行う。	○企業ニーズに基づき、産地内で求められている製造工程の確立と、企業への技術導入の支援 ○講習会、専門家派遣等による企業人材のレベルアップを図った				デジタル技術導入を推進するためにはハードウェア面での投資が課題であり、令和6年度は比較的廉価な設備やツールも活用し、産地内へのデジタル技術導入を進める。				2,759	工業技術総合センター	55
				技術移転件数 技術指導、相談等の件数	- (-)	450%、567% (9件, 170件) (2件, 30件)	()	()	()	【】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
34		(新) 信楽焼産地へのコト づくり支援事業	信楽焼産地を中心とする事 業者に対しインバウンド市 場の開拓を目指す製品開発 や情報発信等の取り組みを 支援する。	○「しがらきコトづくり研究会」の発足 ○目的別分科会の設置 ○3つの場（学ぶ場、実証する場、発信する場） を提供し、ステップアップ、フィードバックを意 識した活動支援				引き続き、3つの場（学ぶ、実証、発信）を中心に セミナーの開催、製品開発、展示会の開催に取り組 み魅力発信に努める。				1,909	工業技術総合センター	－
				・学ぶ場への 参加企業数 ・実証する場 での製品開発 数 ・発信する場 への参加企業 数	()	150%,850%170% 平均15社、 17点、17社 (10社、2 点、10社)	()	()	()	【】				
35		ものづくり技術高度 化事業	県内製造業で必要となる 「ものづくり技術」の高度 化を目指した技術開発と高 性能・高機能な新規材料を 創製し、企業の技術競争力 強化、および新分野進出を 支援する。	○「県内産出プラスチック材料の利活用と高付加 価値化のための機能制御技術開発」 ○「協業ロボットによる製造自動化技術の開発」				引き続き、地域や地場産業などのモノづくり技術の 高度化に向けた研究に取り組む				1,266	東北部工業技術セ ンター	56
				研究テーマ 数	2テーマ (2テーマ)	100% 2テーマ (2テーマ)	－ (1テーマ)	－ (2テーマ)	－ (2テーマ)	－ 【-】				
36		技術移転・共同研究 事業	東北部工業技術センターで 開発した新技術の研究結果 を企業などに移転するとと もに、共同研究を実施する ことで、実用化に必要な 種々の条件について検討を 加え早期の企業化を目指 す。	○「ICTを用いた製造工程の可視化・技術伝承支 援技術の開発」 ○「鉛フリー銅合金「ピワライト」の産地普及と 性能評価に関する研究」 ○「鋳造プロセス向け連続測温センサーの開発」 ○「琵琶湖流域に存在するプラスチックの種別同 定に関する研究」 ○「新規高分子系ブレンド材料、および複合材料 等の各種物性改質に関する研究」				企業訪問や外部の支援機関との連携を行い、研究 シーズの発掘、企業ニーズへの対応を図り、共同研 究を推進する。				566	東北部工業技術セ ンター	57
				産学官連携 共同研究数	21件 (25件)	88% 22件 (25件)	(25件)	(25件)	(25件)	【】				
				技術普及件 数	22件 (12件)	158% 19件 (12件)	(12件)	(12件)	(12件)	【】				
										【】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
37		地域産業支援事業	コロナ危機により大きな影響を受けた地場・地域産業の回復に向けて、従来技術や地域資源を活用しながら、ポストコロナ時代を見据えた製品開発や技術開発の支援を行う。	〇繊維産業開発支援 〇バルブ産業開発支援 〇ブランド構築支援 〇ICT支援				技術人材の育成の観点から講習会やセミナーなどをオンラインを活用しながら計画的に実施する。				628	東北部工業技術センター	58
				講習会等の開催数	25回 (20回)	120% 24回 (20回)	(20回)	(20回)	(20回)	【】				
38		(新) 健康志向に対応したオーガニック茶産地育成事業	健康ニーズの高まりを新たな需要と捉え、「近江の茶」の健康ブランド化を図るため、オーガニック茶に加え、ノンカフェイン、低カフェイン等の健康志向向けの輸出茶の商品を拡充する。	〇健康志向に対応したカフェインレス茶製造技術の開発（茶業指導所） 〇健康志向に対応したオーガニック茶産地体制の構築（補助金）				〇品種、茶期によるカフェイン含量の違いや製茶技術によるカフェイン低減技術を明らかにした。 〇試作品による消費者の嗜好やアンケートを実施し、カフェインに対する消費者ニーズの把握した。 〇今後は品種や製茶方法の組み合わせを検討するとともに消費者評価も踏まえ商品化を図る。				(再掲)	みらいの農業振興課	21 59
				健康機能性を持ったオーガニック茶商品の開発	- (-)	- (-)	- (1商品)	- (-)	- (-)	- 【-】				
39		水産物流通促進対策事業	滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。	〇滋賀県水産物加工品評会の開催 〇滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信				〇滋賀県水産物加工品評会の開催 〇滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信				(再掲)	水産課	10 43
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度 の実績値 (目標値)	令和5年度 の実績値 (目標値)	令和6年度 の実績値 (目標値)	令和7年度 の実績値 (目標値)	令和8年度 の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
		オ 情報発信ツールやインターネット等を活用した産地情報や産品情報のPR(5事業)												
40		びわ湖材産地証明事業	びわ湖材産地証明制度の運営および品質認定の取得を支援するとともに、新たな木材利用を普及啓発する。	○県産木材活用推進協議会に対し、びわ湖材産地証明制度の運営を支援した。				○C L T等の普及促進を図るとともに、びわ湖材の利用拡大をするための研修会を開催。 ○びわ湖材産地証明制度の運営および日本農林規格（J A S）認定の取得を支援。				(再掲)	びわ湖材流通推進課	28
				びわ湖材証明を行った年間木材量	65,700m3 (68,600)	66,800m3 (74,400)	90%	()	()	115,000㎡ 【令和12年度】				
41		木育推進事業	木製玩具等の木育製品の活用を通じて木の良さや利用の意義を学んでもらい、暮らしの中で木を使い親しむ環境づくりを啓発することを通じて、びわ湖材の利用拡大を進める。	○木に触れ、親しんでもらう場を提供するため、普及啓発イベントを実施した。 ○木育への理解を深めるための講座を行い、木育に必要な知識や体験の習得を行い、木の魅力を伝える人材の育成を行った。 ○木育の拠点となる施設の整備を進めるため、関係者によるワークショップおよび施設設計を行った。				○木育の認知度の向上、木育指導者の育成が課題である ○木に触れ親しむことのできる木育イベントの開催、常設の木育拠点施設の整備、木育製品の貸出、木育の伝え手となる人を育成する木育講座の開催等を行う。				16,782	びわ湖材流通推進課	-
				びわ湖材証明を行った年間木材量	65,700m3 (68,600)	66,800m3 (74,400)	90%	()	()	115,000㎡ 【令和12年度】				
42		伝統的工芸品産業振興事業	伝統的工芸品産業の振興を図るため、指定産地の調査や伝統的工芸品紹介冊子を制作する。	○伝統的工芸品に関するパンフレットの増刷				引き続き、伝統的工芸品のさらなる発信を行っていく。				300	イノベーション推進課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】	備考			
43		水産物流通促進対策事業	滋賀県水産加工業協同組合が実施する湖魚の普及宣伝活動に対して支援する。	達成度% ○滋賀県水産物加工品評会の開催 ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信				○滋賀県水産物加工品評会の開催 ○滋賀の水産加工品のPRおよび情報発信				(再掲)	水産課	10 39
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
44		⑨ 琵琶湖八珍再発見推進事業	琵琶湖の特産種である湖魚を活用する飲食店等と生産者との連携のもと、消費者が湖魚を堪能できるキャンペーンを展開することで、事業者の活動充実化を図る。	○事業者と生産者とが共に学べるワークショップを開催した。 ○消費者が湖魚と漁業を堪能できる漁業見学会、調理体験、メニューフェアを開催した。				○事業者と生産者とが共に学べるワークショップを開催する。 ○消費者が湖魚と漁業を堪能できる漁業見学会、調理体験、メニューフェアを開催する。				4,000	水産課	68
				びわ湖産魚介類を活用する事業者数	- (-)	104% 282件 (270件)	(280件)	(300件)	(-)	300件 【R07年度】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
(2)近江の地場産業事業者等の経営基盤強化のための、経営改善および合理化、資金の供給の円滑化等(7事業)															
ア 近江の地場産業事業者等の経営改善および合理化推進のための支援(5事業)															
45		中小企業経営革新支援事業	中小企業の新事業を促進するため、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画の承認および外部専門家による指導・助言を行うとともに、商品化、販路開拓等に要する経費の一部を助成する。	○経営革新計画承認審査会の開催 ○市場化ステージ支援事業補助金による支援 ○経営革新計画フォローアップ調査の実施 ○経営革新計画制度周知パンフレットの作成				○経営革新計画およびそのフォローアップの一層の周知を図り、計画承認件数および企業化率の向上を図る。				11,254	中小企業支援課	-	
				「市場化ステージ支援事業補助金企業化状況調査」による企業化率	45% (35%)	49% (35%)	()	()	()	【 】					
46		滋賀の魅力活用型ちいさな企業応援補助金	県内中小企業のうち9割近くを占める小規模事業者が策定する滋賀の魅力(しがの資源)を活用した新たな取組に関する計画に従って実施する事業のうち、事業化・市場化段階にある事業について経費の一部を助成する。	○滋賀の魅力(資源)を活用する事業に新たに取組もうとする小規模事業者を引き続き支援する。				令和5年度にて終了				4,688	中小企業支援課	-	
				新商品市場化または販路開拓が進んだと感じた事業者の割合	100% (80%)	104% (80%)	()	()	()	【 】					
47		小規模事業経営支援事業費補助金	商工会、商工会議所および商工会連合会が小規模事業者のために行う経営改善普及事業等に要する経費に対して助成する。	○商工会、商工会議所および滋賀県商工会連合会の経営指導員等の人件費およびその活動費等を補助				引き続き、小規模事業者の多様化・複雑化するニーズへの対応および経営基盤の強化に向けて、よりきめ細かな支援が行えるよう、各商工会・商工会議所の経営支援体制の強化を図る。				1,417,156	中小企業支援課	-	
				経営発達支援計画に掲げる売上増加事業者数目標を達成した商工会・商工会議所の割合	61% (75%)	101% (75%)	()	()	()	【 】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
48		中小企業連携組織対策事業費補助金	滋賀県中小企業団体中央会が中小企業の組織化、育成および指導のために行う事業に要する経費に対し助成する。	○中小企業団体中央会の指導員等の人件費およびその活動費等を補助				引き続き、組合の組織力向上や活性化に向けて、よりきめ細やかな支援が行えるよう、中小企業団体中央会の体制の強化を図る。				115,734	中小企業支援課	-	
				中央会の指導対応が、「課題解決に繋がった」とする割合90%以上を獲得する。	100% (90%)	111% 100% (90%)	()	()	()	【】					
49		地場産業設備整備支援補助事業	新型コロナウイルスおよび原油価格・物価の高騰の影響を受けた県内の地場産業事業者に対し、生産体制の強化および新事業の創出のために必要な経費について助成を行う。	地場産業組合、事業者および伝統的工芸品の製造事業者が新商品開発や品質向上のための生産設備を導入する費用に対する補助を行った。 補助実績13件				地場産業事業者等は人手不足や設備の稼働に必要なユーティリティ設備の老朽化等の課題も抱えているため、新商品開発だけでなく生産性向上に必要な設備など補助対象を広げる。				42,614	イノベーション推進課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					
イ 近江の地場産業事業者等に対する、金融機関と協調した長期・低利の融資の活用促進(2事業)															
50		中小企業振興資金貸付金	中小企業者の経営安定等を図るため、制度融資を実施する。	○中小企業者の経営安定等を図るため、制度融資を実施した。 (令和5年度新規貸付：2,674件)				中小企業者の様々な資金需要に対応できるよう、必要に応じて制度融資の見直しを行う。				24,808,700	中小企業支援課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					
51		水産振興資金融資基金預託金	漁業経営の近代化、経営の安定および合理化等に必要な資金の融資を行う。	○随時、申請に応じて融資を行った。				引き続き関係金融機関と協調し、必要な融資を提供する。				18,228	水産課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	達成度% 令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
(3)新商品開発等に係る調査研究、多様な分野における事業展開の促進(14事業)															
ア 公設試験研究機関を中心として、高度化、多様化するニーズに対応した新商品開発のための調査研究の推進(10事業)															
52		プロジェクトチャレン ジ支援	中小企業が新プロジェクト を立案しチャレンジできる 環境を整備することで、新 製品や新技術開発を活発化 し、開発されたものを事業 化へつなげることで、県内 経済の向上につなげる。	○プロジェクトチャレンジ支援事業費補助金 ・新商品や新技術開発にかかる必要な調査、研究 開発経費の一部を助成 ・ＣＯ２削減に資する研究開発およびデジタル産 業、医療・健康産業や循環産業において今後成長 が見込まれる分野に関する研究開発を支援 ○フォローアップ支援事業 ・チャレンジ計画等の企画、実施、成果の事 業化について各段階に応じた支援				・ＣＯ２ネットゼロに資する研究開発を推進する ため、ＣＯ２削減に繋がるより効果的な研究開発 を支援する。				(再掲)	イノベーション推進課	29	
				中小企業の新製 品等開発計画の 認定等件数	10件 (9件)	89% 8件 (9件)	(9件)	(10件)	(10件)	- 【-】					
53		窯業技術研究開発事 業	県内の陶磁器および窯業関 連企業の技術支援および産 業振興を目的に、新製品お よび新素材の研究開発を行 う。	○陶磁器デザイン指導事業 試験場のデザイン及び試作技術等を生かした技術 指導 ○「新しい生活様式のための陶製品開発」の実施 と成果普及				引き続き、試験場のデザイン及び試作技術等を生 かした技術指導を行い、「未来世代への陶製品開 発研究」に新たに取り組む。				(再掲)	工業技術総合センター	31	
				技術移転（特許 出願、実施許諾 を含む）、試作 品開発、新素材 開発件数	27件 (25件)	107% 16件 (15件)	()	()	()	【】					
54		地域産業育成指導事 業	窯業関連事業者への技術情 報の提供および窯業関連製 品や素材の試験および研究 を行う。	○技術情報誌「陶」発行、機器開放、技術指導、 製品・素材の研究開発				引き続き、技術情報誌「陶」発行、機器開放、技 術指導、生産物提供、製品・素材の研究開発を実 施。				(再掲)	工業技術総合センター	32	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】	備考			
55		先導的技術開発プロジェクト事業 (陶製品製造工程へのデジタル技術導入支援事業)	3Dスキャナ、CNC加工機やセラミックス印刷機等のデジタルファブリケーションを活用した陶製品の製造工程を確立し、産地の製造現場に対する技術導入支援を行う。	達成度% 450%、567%				デジタル技術導入を推進するためにはハードウェア面での投資が課題であり、令和6年度は比較的廉価な設備やツールも活用し、産地内へのデジタル技術導入を進める。				(再掲)	工業技術総合センター	33
				技術移転件数 技術指導、相談等の件数	- (-)	(9件, 170件) (2件, 30件)	()	()	()	【】				
56		ものづくり技術高度化事業	県内製造業で必要となる「ものづくり技術」の高度化を目指した技術開発と高性能・高機能な新規材料を創製し、企業の技術競争力強化、および新分野進出を支援する。	100%				引き続き、地域や地場産業などのモノづくり技術の高度化に向けた研究に取り組む				(再掲)	東北部工業技術センター	35
				研究テーマ数	2テーマ (2テーマ)	2テーマ (2テーマ)	- (1テーマ)	- (2テーマ)	- (2テーマ)	- 【-】				
57		技術移転・共同研究事業	東北部工業技術センターで開発した新技術の研究成果を企業などに移転するとともに、共同研究を実施することで、実用化に必要な種々の条件について検討を加え早期の企業化を目指す。	88%				企業訪問や外部の支援機関との連携を行い、研究シーズの発掘、企業ニーズへの対応を図り、共同研究を推進する。				(再掲)	東北部工業技術センター	36
				産学官連携共同研究数	21件 (25件)	22件 (25件)	(25件)	(25件)	(25件)	【】				
				技術普及件数	22件 (12件)	19件 (12件)	(12件)	(12件)	(12件)	【】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】	備考			
58		地域産業支援事業	コロナ危機により大きな影響を受けた地場・地域産業の回復に向けて、従来技術や地域資源を活用しながら、ポストコロナ時代を見据えた製品開発や技術開発の支援を行う。	○繊維産業開発支援 ○パルプ産業開発支援 ○ブランド構築支援 ○ICT支援 講習会等の開催数		達成度% 120% 24回 (20回)	(20回)	(20回)	(20回)	(20回)	技術人材の育成の観点から講習会やセミナーなどをオンラインを活用しながら計画的に実施する。 【】	(再掲)	東北部工業技術センター	37
59		新デ 健康志向に対応したオーガニック茶産地育成事業	健康ニーズの高まりを新たな需要と捉え、「近江の茶」の健康ブランド化を図るため、オーガニック茶に加え、ノンカフェイン、低カフェイン等の健康志向向けの輸出茶の商品を拡充する。	○健康志向に対応したカフェインレス茶製造技術の開発（茶業指導所） ○健康志向に対応したオーガニック茶産地体制の構築（補助金） 健康機能性を持ったオーガニック茶商品の開発	- (-)	- (-)	- (1商品)	- (-)	- (-)	- 【-】	○品種、茶期によるカフェイン含量の違いや製茶技術によるカフェイン低減技術を明らかにした。 ○試作品による消費者の嗜好やアンケートを実施し、カフェインに対する消費者ニーズの把握した。 ○今後は品種や製茶方法の組み合わせを検討するとともに消費者評価も踏まえ商品化を図る。	(再掲)	みらいの農業振興課	21 38
60		高品質近江牛づくり推進事業	畜産技術振興センターで生産した高品質の雌子牛を農家へ譲渡するため、育成牧場での優良繁殖雌牛の整備と効率的な改良を図る。	○育成牧場での優良繁殖雌牛の整備および効率的な改良を図るとともに、生産した雌子牛を農家に譲渡 -	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】	○優良な和牛子牛の県内生産を図るため、引き続き農家への高品質繁殖雌牛の譲渡を実施	35,384	畜産課	-
61		家畜の改良増殖と優良種畜の譲渡事業	近江しゃもの種卵を生産者へ供給する。	○地場産品に位置づけられている「近江しゃも」の種卵を供給 -	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】	○「近江しゃも」の種卵あるいは種ひなを安定的に供給する	5,468	畜産課	-

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の実績値 (目標値)	達成度% 令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】	備考			
		イ 新ビジネスの創造に向けた異分野・異業種の連携による商品開発等の促進(3事業)												
62		オープンイノベーション推進事業	様々な技術シーズを有する県内中小企業等や、県外企業や大手企業を取り込んだ“出会いの場（フォーラム）”を形成し、企業間マッチングを推進する機会の提供やコーディネーターによる伴走支援を通じて、オープンイノベーションを加速することで、新事業創出と県内中小企業の競争力強化を図る。	120%				マッチングから研究開発・研究開発から事業化へスムーズに移行するように、専門家が後押しする。（研究課題ブラッシュアップ支援、研究成果のフォローアップ支援）				23,206	イノベーション推進課	-
				過去5年間に、外部資金を活用した開発等を実施した企業のうち、事業化した割合	56.30%	60.00%								
63		新 デ 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業	地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する。	117%				令和5年度は各事業者はブランディングや製品企画を行ったところであり、令和6年度は試作やパッケージの作成等を行っていく。				(再掲)	イノベーション推進課	3072
				商品開発や販路開拓に取り組んだ件数	-	7件	-	-	-	-	-			

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の実績値 (目標値)	令和5年度の実績値 (目標値)	令和6年度の実績値 (目標値)	令和7年度の実績値 (目標値)	令和8年度の実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の最終年度】	備考			
64		農山漁村発イノベーション支援事業	農山漁村発イノベーションに取り組む農林漁業者等を対象に人材育成のための研修会の開催や専門家派遣による新商品開発、販路開拓などの取組を支援する。	達成度% ○農山漁村発イノベーションプランナーの派遣 ○農山漁村発イノベーション研修会の開催 ○経営改善計画、総合事業化計画等策定支援				○経営改善につながる伴走型のプランナー派遣による支援が必要。 ○農山漁村発イノベーションへの意欲や取組段階等に応じた研修カリキュラムが必要。 ○農林漁業者等が主体となった取組への誘導・支援を引き続き実施。				9,010	みらいの農業振興課	-
				6次産業化を含む経営改善計画等を策定した経営体数	()	180% 9経営体 (5経営体)	()	()	()	【】				
ウ 地場産品の地域にある資源を活用した観光関連産業との連携促進(1事業)														
65		シガリズムコンテンツ創出事業	県内各地の価値ある資源を体験・体感することができる滋賀らしいツーリズムを創出するため、観光素材の掘り起こし、魅力分析等を行い、観光誘客につなげる。	達成度% ○各地域へのコーディネーターの配置、現地調査・素材発掘、素材の分析・磨き上げ、商品化、県内共通販売システムの構築、データ蓄積等				・体験コンテンツをびわこビジターズビューローのWEBサイト上で販売しているが、さらなる販売力の強化が必要。 ・大阪・関西万博や国スポ・障スポ大会を見据え、「(仮称)シガリズム観光誘客キャンペーン」を展開し、プロモーションを強化する。 ・シガリズム体験の拡大のため、大手OTA等と連携して販売力を強化する。				33,021	観光振興局	-
				シガリズムコンテンツ創出件数	67本 (64本)	100% 64本 (64本)	()	()	()	200本 【令和6年度】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
(4)担い手となる人材の確保・育成、資質向上に対する支援、優れた技術等の継承の推進等(17事業)															
ア 担い手となる人材の確保のための情報提供(5事業)															
66		地域連携型モノづくり人材育成事業	本県の窯業業界の振興を図るため、窯業技術者養成のための専門研修を実施する。	○研修生を受け入れ1年間の研修期間に、大物・小物ろくろ成形科、デザイン科、素地釉薬科に別れ、講義および実習の研修による技術者の養成を実施。 達成度% 129%				引き続き、窯業技術者養成のための専門研修と次年度研修生の選考試験（秋試験、冬試験）を実施。				852	工業技術総合センター	73	
				窯業技術者養成研修受講者数	10名 (7名)	9名 (7名)	()	()	()	【】					
67		しがの漁業担い手スキルアップ事業	今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場を提供するとともに、就業希望者の受け入れ態勢の充実を図る。	○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施した。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施した。				○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。				9,856	水産課	78	
				新規漁業就業者数（研修制度を活用して就業した者）	0人 (-)	1人 (-)	()	()	()	10人 【R07年度】					
68		琵琶湖八珍再発見推進事業	琵琶湖の特産種である湖魚を活用する飲食店等と生産者との連携のもと、消費者が湖魚を堪能できるキャンペーンを展開することで、事業者の活動充実化を図る。	○事業者と生産者とが共に学べるワークショップを開催した。 ○消費者が湖魚と漁業を堪能できる漁業見学会、調理体験、メニューフェアを開催した。				○事業者と生産者とが共に学べるワークショップを開催する。 ○消費者が湖魚と漁業を堪能できる漁業見学会、調理体験、メニューフェアを開催する。				(再掲)	水産課	44	
				びわ湖産魚介類を活用する事業者数	- (-)	282件 (270件)	(280件)	(300件)	(-)	300件 【R07年度】					
69		製菓技術の向上支援事業	製菓等技術者の資質向上を図るための研修等を行う。	○製菓等技術者の資質向上を図るため、製菓ビギナーセミナー、製菓eセミナーおよび製菓スキルアップセミナーを開催。				実習も含めた種々のセミナーを開催し、製菓技術者等のスキルアップが図られたことから、引き続き事業を継続する。				1,617	薬務課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
70		⑨ 企業人材のDXスキル強化支援事業	自ら解決すべき課題を設定する課題設定力や主体性を有し、DXを継続して推進できる人材の育成を行う。	○相談・マッチング会（1/25）の開催 ○DX研究会の開催（12/13、3/11、計2回） ○育成環境構築補助（採択 8社）				DXに取り組む予定のない中小企業もまだまだ多いため、さらなる啓発・取組支援を進め、モデルケースを創出していく。				11,670	イノベーション推進課	－	
				社内SIとなるDX人材の育成に取り組んだ、もしくは、取り組むことを決定した事業者数	－ (－)	120% 24件 (20件)	－ (20件)	－ (－)	－ (－)	－ 【－】					
イ 後継者育成や技術継承のための取組の実施および支援(9事業)															
71		㊦ 近江の地域産業振興総合支援事業	地場産業組合等が実施する海外の販路開拓、持続的発展に向けた後継者育成や国内での販路拡大等、ブランド力向上を目指した取り組みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した（開催日：7月26日）。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を目的に行うブランド化推進に係るセミナー開催や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合に対して助成した。				・円安の影響により、海外展開戦略に係る事業者負担は増しているが、海外展示会で取引まで繋っており、引き続き販路開拓等に係る支援を実施する。				(再掲)	イノベーション推進課	4 26 93	
				商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数	13者 (15者)	60% 6者 (10者)	() ()	() ()	() ()	【－】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
72		(新) デ 地場産業「近江のデザイナー」マッチング事業	地場産業事業者と専門家（近江のデザイナー）のマッチング、伴走支援および製品開発等に要する経費の一部を助成することで地場産業等の製品開発・販路開拓を継続的・発展的に支援する。	○「近江のデザイナー」マッチング委託事業 ・地場産業事業者7者と近江のデザイナー3名のマッチングを実施 ・地場産業事業者と近江のデザイナーが取り組む商品開発・販路開拓を伴走支援 全体ミーティング4回、個別ミーティング5回実施 ・地場産業事業者と近江のデザイナーの人材育成デザインやブランディング等に関するセミナーを7回実施 ○「近江のデザイナー」地場産業販路開拓支援事業 ・上記委託事業で取り組む商品開発・販路開拓に係る経費について地場産業事業者に助成した。				令和5年度は各事業者はブランディングや製品企画を行ったところであり、令和6年度は試作やパッケージの作成等を行っていく。				(再掲)	イノベーション推進課	30 63
				商品開発や販路開拓に取り組んだ件数	- (-)	117% 7件 (6件)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
73		地域連携型モノづくり人材育成事業	本県の窯業業界の振興を図るため、窯業技術者養成のための専門研修を実施する。	○研修生を受け入れ1年間の研修期間に、大物・小物ろくろ成形科、デザイン科、素地釉薬科に別れ、講義および実習の研修による技術者の養成を実施。				引き続き、窯業技術者養成のための専門研修と次年度研修生の選考試験（秋試験、冬試験）を実施。				(再掲)	工業技術総合センター	66
				窯業技術者養成研修受講者数	10名 (7名)	129% 9名 (7名)	()	()	()	【】				
74		みらいの就農促進・定着支援事業	就農に向けて、相談から定着にいたるまでの一貫した支援体制を整え、次代の優れた本県産業の担い手の育成確保を図る。	○職業としての農業への関心を高めるため大学生へ出前講座等を開催した。 ○就農相談活動や就農準備講座の開催、青年農業者の交流等を支援した。				○一定の取組を実施できていることから、今後も継続して事業を実施していく。				9,881	みらいの農業振興課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
75		⑧ 養蚕生産安定技術支援事業	県内では、国産繭を使った伝統的な地域の産業があるが、他府県産の原料繭生産の減少により、繭の確保が不安視される状況にあり、県内で繭生産に必要な技術習得を支援する。	○養蚕技術習得の支援（補助金）				○2つの生産者組織に安定生産技術の支援を行い春期については、目標の繭収量を得られたが、秋期については、ウイルス病の蔓延により大きく減収した。 ○今後は、生産工程管理を見直し安定生産につなげる。				402	みらいの農業振興課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
76		大家畜技術指導事業	近江牛生産農家に対して技術指導を行う。	○定期的な巡回により、繁殖や栄養などの飼養管理の指導を実施				○近江牛の安定生産を図るため、引き続き、飼養管理に係る技術指導を実施				731	畜産課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
77		選ばれる「近江牛」づくりチャレンジ支援事業	多様な消費者ニーズを意識した「滋賀県生まれ・滋賀県育ち」の近江牛作りへの支援に加え、アニマルウェルフェア（AW）を意識した生産体系に向けた取組や滋賀らしい生産PRなど、ブランド力の向上を図る取組を推進する。	○ゲノミック評価を活用した繁殖雌牛改良の取組を支援 ○新たに繁殖肥育一貫経営に取り組む農家への支援 ○AW、環境、安全・安心に配慮した“三方よし”の「近江牛生産」を推進・PRすることで、ブランド力の向上を図った				○消費者ニーズに対応した次世代高能力繁殖雌牛群整備を図るため、最先端技術であるゲノミック検査を活用し、繁殖雌牛の改良を支援 ○ブランド力向上を図るため、家畜の快適性や環境、安全・安心に配慮した三方よしの「近江牛生産」の取組を引き続き推進				3,800	畜産課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
78		しがの漁業担い手スキルアップ事業	今後の高齢化による琵琶湖漁業の構造変化を見据え、担い手の販売スキル向上のための意識醸成、学びあいの場を提供するとともに、就業希望者の受け入れ態勢の充実を図る。	○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施した。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施した。				○意欲ある担い手を対象に所得向上に向けた研修会等を実施する。 ○漁業への就業相談、短期の体験研修、半年間程度の漁労技術等の研修を実施する。				(再掲)	水産課	67
				新規漁業就業者数（研修制度を活用して就業した者	0人 ()	1人 ()	()	()	()	10人 【R07年度】				
79		滋賀のくすり振興対策事業	経営者等を対象に市場展望と薬業界の今後の進むべき方向についてのセミナー事業に対して支援する。 また、若い人材の育成・確保のための講習会等を開催する。	○（一社）滋賀県薬業協会が行うセミナー事業の支援（補助金） ○化学薬学系の大学生等に対して、県内製薬企業の工場見学会および講習会を開催する。				○セミナーの開催は、各企業の経営者等にとって今後の経営方針、経営戦略を立てる上で有用であるため、引き続き事業に対する支援が必要である。 ○県内薬・化学系の大学・高校の学生への滋賀の製薬企業の紹介事業に引き続き取り組んでいく。				134	薬務課	-
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	達成度％ 令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
		ウ 未来の後継者確保に向けた小中学生や高校生等の地場産業等における機会の提供(2事業)												
80		新デ 地場産業・伝統的工 芸品次世代魅力体験 事業	地場産業、伝統的工芸品に対する興味・関心・共感の醸成を図り、将来の担い手（作り手、支え手、買い手）となる人材の育成・確保につなげることを目的に、県内小学校が地場産業や伝統的工芸品製造者等と行う体験学習等に要する経費の一部を支援する。	○地場産業や伝統的工芸品製造事業者と連携して、製造工程等の体験学習等を行う際に要する経費に対して補助				○対象を県内の小中高等学校への拡充				615	イノベーション推進課	86
				学校と事業者が連携して体験学習等を行った件数	- (-)	150% 15件 (10件)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】	基本構想実施計画			
81		世界にひとつの宝物 づくり事業	陶芸作家やボランティア等との協働により、子どもや障がい者が「土」とふれあい、モノづくりの喜び・感動や本物の芸術を体感できるプログラムを提供することにより、陶芸に理解のある次世代の心豊かな人材育成を図る。	○子どもや障がい者等を対象にした制作体験や展覧会鑑賞などによる教育プログラム（つちっこプログラム）の提供。 ○各種講座の充実やつちっこ活動の理解向上を目的として、子供向けの信楽焼紹介映像制作を行った。				○引き続き来園制作および出張授業を行っていく。陶芸作家やボランティア等の協働により、多くの方にプログラムが提供できるよう体制強化を図っていく必要がある。 ○つちっこプログラムの周知に力を入れることで、参加者の増加につなげる必要がある。				5,151	イノベーション推進課	87
	「つちっこプログラム」の参加者数（R5からは年間実施件数）			11,686人 (11,000人)	101% 232件 (230件)	(230件)	(230件)	(230件)	(230件)	230件 【R8年度】	基本構想実施計画			
		エ 事業承継に向けた取組の支援(1事業)												
82		事業承継促進事業	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、自主廃業が増加することが懸念される中、事業者の事業承継ニーズ掘り起こしを強化するとともに、幅広く活用できる補助金により、事業承継を促進する。	○事業承継引継ぎ・支援センターへ紹介された、有効な案件に対する報酬付与の取組等を通じて、同センターと事業承継ネットワーク構成機関との連携強化を図った。 ○円滑な事業承継に向けた体制整備に向けて行う事業の支援（事業承継円滑化補助金）。				現経営者が事業承継に向けて事業のブラッシュアップ等を行う際には、資金面が課題となっており、引き続きの支援が必要。				5,738	中小企業支援課	-
				①事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継いだ有効な案件数 ②事業承継の課題解決に繋がった事業者	32件 (20件)	250% 50件 (20件)								
				8者 (10者)		100% 10者 (10者)	()	()	()	【】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
(5)近江の地場産業および近江の地場産品に対する関心および理解を深めるための、普及啓発、多様な学習機会の提供等(10事業)															
ア 地場産業等への関心を高め、理解を促進するPRイベント等の実施(3事業)															
83		近江の地酒文化普及事業	近江の地酒に関する魅力を発信し、県民等の近江の地酒に対する愛着を高め、地酒でもてなす機運を醸成することで新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行い、滋賀への誘客促進や関係人口の創出を図る。	○「近江の地酒」に関する魅力の発信 ・近江の地酒もてなし普及協議会開催 ・地酒イベントキャンペーンの開催 ・ホームページ等WEBを活用した情報発信 ○「近江の地酒」認知度向上・ファン獲得 ・近江の地酒ファン獲得に繋がる資材の作成 ・滋賀県酒造組合が開催する地酒の魅力発信イベントや海外への輸出促進の取組を支援				各酒蔵の新規商談件数の増加のためにはBtoBの取組が必要である。令和6年度においては企業向けの試飲会や商談会などの実施について、酒造組合や関連事業者等と連携して検討を進める。				(再掲)	観光振興局	5	
				・商談件数	99件 (50件)	676件 (100件)	()	()	()	接触者数 200者 【令和6年度】					
84		しがの地産地消・食育推進事業	県域および各地域の地産地消推進会議の開催や農業体験等による食育活動により、地場農産物の生産拡大と地域内流通および農からの食育を促進する。	○各地域での地産地消等を推進する会議の開催 延べ回数22回 ○食育体験等の促進支援				○今後とも、県域および各地域の地産地消推進会議の開催や農業体験等へ支援し、地場農産物の生産拡大および農からの食育を推進する。				2,697	みらいの農業振興課	-	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					
85		文化施設管理運営費	県民が文化芸術活動を行う拠点となる県立文化施設（文化産業交流会館）について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料等を支出する。	○邦楽・邦舞の公演やその次世代育成事業等を通じて、和楽器をはじめとする伝統芸能の普及に取り組むとともに、関連企画として伝統産業に触れる機会を提供した。 ・邦楽・邦舞公演「長栄座」および伝統産業展 ・和楽器の若手演奏家の養成事業 ・邦楽演奏家の学校派遣事業「和のじかん」 ・子供向け伝統芸能普及事業「古典芸能キッズワークショップ」 ・ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「近江むかしがたり」				○令和6年度は「芝居小屋『長栄座』夏のフェスティバル」として、琵琶湖や竹生島をテーマに、親しみやすい作品の制作・公演等を行うとともに、和楽器絃をはじめとする滋賀の伝統的工芸品への理解を深めていただく「近江のあたらしい伝統産業展」を実施し、その魅力を次世代に伝えていく。				321,029	文化芸術振興課	92	
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】					

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	達成 令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
		イ 小中学生等が地場産業等にふれ、理解を深める機会の提供(7業)												
86		新デ 地場産業・伝統的工芸品次世代魅力体験事業	地場産業、伝統的工芸品に対する興味・関心・共感の醸成を図り、将来の担い手(作り手、支え手、買い手)となる人材の育成・確保につなげることを目的に、県内小学校が地場産業や伝統的工芸品製造者を行う体験学習等に要する経費の一部を支援する。	○地場産業や伝統的工芸品製造事業者と連携して、製造工程等の体験学習等を行う際に要する経費に対して補助	○対象を県内の小中高等学校への拡充				(再掲)	イノベーション推進課	80			
			学校と事業者が連携して体験学習等を行った件数	- (-)	150% 15件 (10件)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】	基本構想実施計画				
87		デ 世界にひとつの宝物づくり事業	陶芸作家やボランティア等との協働により、子どもや障がい者が「土」とふれあい、モノづくりの喜び・感動や本物の芸術を体感できるプログラムを提供することにより、陶芸に理解のある次世代の心豊かな人材育成を図る。	○子どもや障がい者等を対象にした制作体験や展覧会鑑賞などによる教育プログラム(つちっこプログラム)の提供。 ○各種講座の充実やつちっこ活動の理解向上を目的として、子供向けの信楽焼紹介映像制作を行った。	○引き続き来園制作および出張授業を行っていく。陶芸作家やボランティア等の協働により、多くの方にプログラムが提供できるよう体制強化を図っていく必要がある。 ○つちっこプログラムの周知に力を入れることで、参加者の増加につなげる必要がある。				(再掲)	イノベーション推進課	81			
				「つちっこプログラム」の参加者数(R5からは年間実施件数)	11,686人 (11,000人)	101% 232件 (230件)	(230件)	(230件)	(230件)	(230件)	230件 【R8年度】	基本構想実施計画		
88			たんぼのこ体験事業	小学生自らが農産物を「育て」、「収穫し」、そして調理して「食べる」という一貫した体験学習を通して、農業への関心を高めるとともに、生命や食べ物の大切さを学ぶ「農からの食育」を推進する。	○小学校が行う農業体験学習への支援 ・201小学校で事前申請(県内小学校221校)	○県内すべての小学校で農業体験が実現できるよう、市町やJA等と連携して、引き続き「たんぼのこ体験事業」の活用を働きかける。				自治振興交付金	みらいの農業振興課	-		
				-	- (-)	- -	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				
89		新 新時代の近江牛応援団づくり事業	県内の児童等が近江牛の魅力、地元の食・食文化、地産地消や食の安全に対する理解を深めることによって、将来の近江牛ファンを育てるとともに、職業としての農業、食肉の卸売・小売業、飲食店営業等の魅力を伝えることによる将来の担い手や人材確保のきっかけ作りに資する。	○関係団体が行う、県内の学校等で関係者が出前講座と食育を行う取組に対する支援。	引き続き、近江牛の魅力発信と食育活動により、将来の近江牛ファンを育てることが重要である。 また、職業としての農業、食肉の卸売・小売業、飲食店営業等の魅力を伝えることによる将来の担い手や人材確保取組が必要である。				(再掲)	畜産課	9			
				近江牛の出前講座の開催	- (-)	265% 53 (20回)	- (30回)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考			
90		デ びわ湖のめぐみ食文化継承促進事業	学校給食に湖魚が提供されることで、湖魚を食べる機会の増加、認知度向上や消費拡大を図る。	達成				○比較的高価で給食に導入しづらい湖魚食材費の支援を行う。 ○学校給食における多様な湖魚の利用を促進するとともに、新メニュー開発や研修会への支援、関係者に湖魚の利用方法などの情報提供、食育活動支援を行う。				3,766	水産課	-
				学校給食での湖魚の年間平均使用回数	8.3回 (8.2回)	7.8回 (8.7回)	()	()	()	10回 【R07年度】				
91		デ 中学校チャレンジウィーク	中学校において5日間程度の職場体験を実施し、働く大人の姿にふれたり、自分の生き方を考えたりする機会とし、自分の進路を選択できる力や将来社会人として自立できる力を育てる。	○全公立中学校中、97校で3～5日間の職場体験を実施。				・職場体験学習だけではなく事前事後の学習を充実させるとともに、発達段階を踏まえた体系的・系統的な取組を一層進める必要がある。 ・同じ事業所が数回にわたり複数の学校を受け入れていただいたり、体験内容に苦慮していただいたりしている実情がある。				288	幼小中教育課	-
				全公立中学校における地元の事業所を中心とした職場体験を5日間程度実施した学校の割合	53% (100%)	98% (100%)	- (-)	- (-)	- (-)	100% 【-】				
92		文化施設管理運営費	県民が文化芸術活動を行う拠点となる県立文化施設（文化産業交流会館）について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料等を支出する。	○邦楽・邦舞の公演やその次世代育成事業等を通じて、和楽器をはじめとする伝統芸能の普及に取り組むとともに、関連企画として伝統産業に触れる機会を提供した。 ・邦楽・邦舞公演「長栄座」および伝統産業展 ・和楽器の若手演奏家の養成事業 ・邦楽演奏家の学校派遣事業「和のじかん」 ・子供向け伝統芸能普及事業「古典芸能キッズワークショップ」 ・ユースシアター事業 邦楽ミュージカル「近江むかしがたり」				○令和6年度は「芝居小屋『長栄座』夏のフェスティバル」として、琵琶湖や竹生島をテーマに、親しみやすい作品の制作・公演等を行うとともに、和楽器紋をはじめとする滋賀の伝統的工芸品への理解を深めていただく「近江のあたらしい伝統産業展」を実施し、その魅力を次世代に伝えていく。				(再掲)	文化芸術振興課	85
				-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- 【-】				

令和5年度 近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策

【資料1別冊】

通番	項目	事業名	事業概要	事業の実施状況(R06.3月末)				課題と今後の取組				決算額 (千円)	担当課	再掲	
				指標	令和4年度の 実績値 (目標値)	達成度% 令和5年度の 実績値 (目標値)	令和6年度の 実績値 (目標値)	令和7年度の 実績値 (目標値)	令和8年度の 実績値 (目標値)	最終目標値 【事業の 最終年度】	備考				
	(6)近江の地場産業および近江の地場製品に関する実態についての定期的な調査および分析(1事業)														
	ア 近江の地場産業および近江の地場製品の実態について概ね5年を目安として調査を実施(1事業)														
93		近江の地域産業振興 総合支援事業	地場産業組合等が実施する 海外の販路開拓、持続的発展 に向けた後継者育成や国内での 販路拡大等、ブランド力向上を 目指した取り組みを支援する。	○地域産業総合推進事業 施策推進協議会を実施した(開催日：7月26日)。 ○地場産業組合等指導支援補助金 滋賀県中小企業団体中央会が地場産業の振興を 目的にして行うブランド化推進に係るセミナー開催 や専門家派遣、認知度向上に向けた情報発信等 に対して助成した。 ○地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金 国内外の販路開拓や後継者育成に取り組んだ組合 に対して助成した。				・円安の影響により、海外展開戦略に係る事業者 負担は増しているが、海外展示会で取引まで繋つて おり、引き続き販路開拓等に係る支援を実施する。				(再掲)	イノベーション推進課	4 26 71	
				商品開発や販路開拓に 取り組んだ事業者の数	13者 (15者)	60% 6者 (10者)	()	()	()	【-】					